

令和 3 年 度 着 手

新郷下番地区 客土事業 変更計画概要書

〔 県 営 経 営 体 育 成 基 盤 整 備 事 業 （ 土 地 総 ） 〕

（ 令和 8 年 度 第 1 回 変 更 ）

事 業 主 体 福 井 県

令和3年度着手 県営土地改良事業 新郷下番地区（客土（経営体育成基盤整備（土地総））事業）

変 更 理 由 書

I. 変更の内容

1. 事業施工に係る地域の変更

（1）地積

（単位：ha）

市町村名／地目		田	畑	計
（ 坂井市：三国町藤沢	変更前	4.4	—	4.4
	変更後	4.4	—	4.4
	増・減	—	—	—

2. 主要工事計画の変更

（1）計画受益面積

（単位：ha）

項 目		田	畑	その他	計
客土	変更前	4.4	—	—	4.4
	変更後	4.4	—	—	4.4
増・減		—	—	—	—

（2）事業費

（単位：千円）

区 分	変更前	変更後	増・減	備 考
客土工	27,000	63,000	36,000	
測量試験費	4,000	3,000	△ 1,000	
用地及び補償費	—	—	—	
総事業費	31,000	66,000	35,000	

変更前 令和2年度価格
変更後 令和8年度価格

内 訳

自 然 増	17,000
工 法 変 更	18,000
事業量変更	—
計	35,000

（3）工事予定期間

	（ 〃 ）
着 工	令和 3 年度
	（ 8 ）
完了予定	令和 10 年度

Ⅱ. 計画変更を必要とする理由

1. 主要工事計画の変更

【主たる変更理由】

流用する計画であった土砂（港湾砂）の一部について、搬出元が変更になったことによる増。

客土

(単位：千円)

工法変更

- ・ 流用する計画であった土砂（港湾砂）の一部について、搬出元が変更になったことによる増。

N=1.0式

19,000

測量試験費

- ・ 当初想定していた調査委託が、別事業の成果品を流用できたことによる減。

N=1.0式

△ 1,000

合計

18,000

2. 事業費変更の理由

項 目	増 減
自 然 増	17,000 千円
工 法 変 更	18,000 千円
事業量変更	－ 千円
計	35,000 千円

本地区は円内第一排水機場の末端受益の低平地であり、地区の排水は竹田川に排水されている。このため、竹田川の外水位が高い場合には、周辺地域に比べて田面が低い本地域は十分に排水されない状況にあり、湿田状態により畑作物の栽培に支障を来している状況である。

よって、本事業により基盤嵩上を目的とする客土を行い、高収益作物の導入など農地の高度利用の実現を図れるような、早急な基盤整備を進めることが必要である。

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地 域

(")
坂井市 : 三国町藤沢 地係

第2節 地 積

市町村名	事業名 地 目	客 土					備 考
		田 (ha)	畑 (ha)	樹 園 地 (ha)	非農用地 (ha)	道水路敷 (ha)	計 (ha)
坂 井 市		(") 4.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 4.4
計		(") 4.4	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 4.4

第3節 現 況

1. 気 象

変 更 な し

観 測 所 名	三 国 観 測 所	かん が い 期	非かん が い 期	計または平均 (年 間)
観 測 期 間	H 18 ～ H 27	5 月 ～ 9 月	1 0 月 ～ 4 月	
平 均 気 温 (℃)		22.2	8.5	14.2
平 均 降 水 量 (mm)		910	1,236	2,146
平 均 降 水 日 数 (日)		51	119	170
根 雪 期 間		1 2 月 ～ 3 月		日 間
無 霜 期 間		4 月 ～ 1 1 月		日 間
最 多 風 向	SSE(5～8月)	最 大 風 速		25.8 m/s

2. 地 形 地 質

変 更 な し

本地区は地盤標高1.5～2.5mの低い平野地域、主傾斜1／5000の兵庫川、竹田川沿いに広がる農地で、地質は沖積世非固結堆積物からなる。

3. 水 利 状 況

変 更 な し

地区の排水は兵庫川もしくは竹田川に排水されている。現況の排水路はアーム柵水路であり、土砂吸出しによる維持管理費の増大が生じている状況である。

4. 営 農 状 況

変 更 な し

本地区は水稻主体の営農を行っており、転作作物として、大麦、大豆、そばを作付けしている。

また、地区の農業は、農業法人(認定農業者)2組織および個別農家で営農しているが、土地改良施設の老朽化が著しく、維持管理コストおよび労力の増大、排水管理労力の増大により農業経営を圧迫している状況である。

よって、本事業を契機に将来的に農地集積を促進していきたい。

5. 地域環境の概略

変 更 な し

本地区には、キタノメダカ、オオタニシ、イシガイ、イチョウウキゴケ、ウスゲチョウジタデ、ミズマツバ等の希少な動植物が確認されている。また、西に一級河川兵庫川、北に一級河川竹田川の流域に広がる農地であり、豊かな自然環境を形成している。

第3章 基本計画

第1節 計画の要旨

1. 要 旨

変 更 な し

本事業で客土を行うことにより、土地利用率の高い効率的な水田農業の確立を図る。また、高付加価値の水田園芸を振興し、農業の活性化及び効率的で安定した農業経営を確立させる。

2. 事業別面積

土地利用区分 換地区	客 土					計 (ha)	備 考
	旧 田 (ha)	新規田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)			
坂 井 市	(〃) —	(〃) —	(〃) 4.4	(〃) —		(〃) 4.4	
計	(〃) —	(〃) —	(〃) 4.4	(〃) —		(〃) 4.4	

第2節 営 農 計 画

変 更 な し

品質・価格の競争時代に対応するため、営農の合理化及び生産性の向上を図るとともに、担い手への農地集積の加速化、農業経営の合理化を図り、本地域の農業競争力の強化を目指す。

第3節 環境との調和への配慮

変 更 な し

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

第4節 計画基本事項

1. 客土事業

変更なし

ア) 客土計画

区 分 …… 基盤嵩上による排水不良解消

計画客土厚 …… $t = 8 \sim 21 \text{ cm}$

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の内容

1. 客土事業

ア) 客土工 $A = 4.4 \text{ ha}$ (〃) 客土 $V = 7,043 \text{ m}^3$ (〃)

第2節 予定工期

(〃) (8)
令和 3 年 ～ 令和 10 年

第3節 管理の要領

変更なし

本事業により造成された施設は、地元受益者が管理する。

第5章 換地計画の要領
第1節 換地計画樹立の必要性

変 更 な し
該 当 な し

第2節 換地計画樹立の基本方針
1. 従前の土地の地積の基準

変 更 な し
該 当 な し

2. 農用地集団化の方法

変 更 な し
該 当 な し

<div> <div>区 分</div> <div>換地区</div> </div>	地 帯 別 グ ル ー プ 別 団 地 の 設 定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 選 択	1 戸 当 た り 目 標 団 地 数	区 画 畦 畔 の 取 り 扱 い

3. 非農用地の換地方針

変 更 な し
該 当 な し

4. 清 算 の 方 法

変 更 な し
該 当 な し

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入に係る地積

変更なし
該当なし
単位:ha

用途 \ 区分	機能交換に係る土地				一般	合計
	国有地	県有地	市町村有地	計	国有地	
計						

第4節 換地処分の特則

変更なし
該当なし

第6章 費用の概算

(2)
令和 8 年度価格(千円)

工 区	事 業 費	事 務 費	総 事 業 費	備 考
全 工 区	(31,000) 66,000		(31,000) 66,000	
計	(31,000) 66,000		(31,000) 66,000	

第7章 効 用

(2)
令和 8 年度価格(千円)

区 分	年 総 効 果 (便 益) 額	年 増 加 農 業 所 得 額	備 考
食料の安定供給の確保 に 関 す る 効 果	(2,344) 3,216	(2,363) 3,219	
作 物 生 産 効 果	(120) 149	(139) 152	
営農経費節減効果	(2,224) 3,067	(2,224) 3,067	
農 業 の 持 続 的 発 展 に 関 す る 効 果			
多 面 的 機 能 の 発 揮 に 関 す る 効 果			
そ の 他 効 果	(21) 19	(〃) —	
国産農産物安定供給効果	(21) 19	(〃) —	
計	(2,365) 3,235	(2,363) 3,219	(1.54) 総費用総便益比： 1.05 (14.4) 総所得償還率： 30.8 % (5.3) 増加所得償還率： 8.3 %

第8章 他の事業との関連

変 更 な し

該 当 事 項 な し

第9章 計画概要図

別 添 図 面 参 照

事業の負担区分の予定及び地元負担の予定基準

1 事業費の負担区分の予定

(31,000) (31,000)
 1) 総事業費 66,000 千円也 [事業費 66,000]

千円也 [事務費]

2) 負担区分

(千円)

区 分		補 助 率	金 額	計
国 庫 補 助	事 業 費	(") 50.00 %	(1 5 , 5 0 0) 3 3 , 0 0 0	(1 5 , 5 0 0) 3 3 , 0 0 0
	事 務 費			

2 地元負担の予定基準

変 更 な し

該 当 事 項 な し

3 負担団体

変 更 な し

坂 井 市

新 郷 下 番 土 地 改 良 区

一 定 地 域 調 書
(県 営 土 地 改 良 事 業)

新 郷 下 番 地 区

変更なし

経営体育成基盤整備事業(土地総) 新郷下番地区

[illegible]